

# World's Window

さあ、窓を開けて世界をのぞいてみようよ



## Vol.45

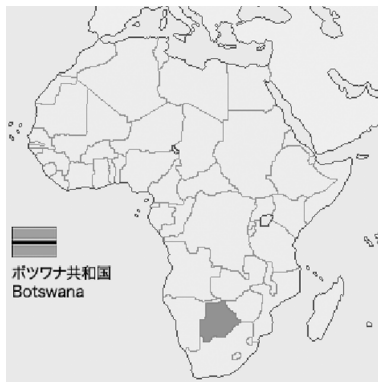
### ボツワナ共和国



世界の国々や地域を紹介するコーナー「ワールズ・ウィンドウ」!

案内役は、国際交流員のアダム・ラビエールさんとジェニファー・ステントンさんです。

Hello! ジェニファーです。今回は皆さんにボツワナ共和国を紹介したいと思います。ボツワナは陸地に囲まれたアフリカの15か国のうちの1つです。そこは海岸線がまったく無く、日本の自然とはまったく異なっています。



## ボツワナは

ゆるやかな起伏の台地とカラハリ砂漠の平原によって覆われたとても平坦な国です。一目目立った自然の特徴がなく、ボツワナの国についてほとんど知られていないという事実から

すると、観光客にとってまったく興味のない、あまり面白くない国だと思われる可能性があります。

しかしながら、もう少し深く見ていくとボツワナは特別な素晴らしい場所だということがわかります。

**20世紀**にアフリカの多くの国が内戦で苦しんでいる間、ボツワナは平和を維持していました。30年間でボツワナは世界の中で最も早く経済成長し、国家は国民の生活水準を大いに進歩させるために管理をしました。その間ボツワナは世界の中で最も貧困な国々の一つから中所得国へ変わることになりました。

しかし、1990年代以来ボツワナはエイズのまん延にかなり苦しみました。エイズによって経済成長は後退し、10年の間に平均的生活の期待が減少させられました。しかし、エイズに対してとても先進的な取り組みをしています。



ボツワナは**田舎のため**世界中でほとんど知られていません。しかし実際には変化に富んだ独特の自然環境を持った美しい場所です。この事実に基づき、観光事業が国の経済にますます重要な役割を果たしています。たくさんの国営の公園があり、素晴らしい野生動物が勢揃いして毎年多くの観光客を引き寄せています。主要な探検旅行の目的地としてオカバンゴ



デルタやチョベ国立公園があります。そこで旅行者はライオン、ゾウ、チーターやヒョウなどの動物がすんでいる、目を見張るような放牧場を見ることができるでしょう。多くのほかの国々と違って、ボツワナは観光事業の促進に成功すると同時に、現地の自然環境や野生動物の保護にも成功しました。

## ボツワナの風景、動物、生活様式

そしてそこに住んでいる人々の寛大で気さくな態度は、スコットランドの作家であるアレグザンダー・マコール・スミスによって多くの特色やおだやかな愛情を持って描写されています。彼はボツワナに何年間も住み、ボツワナを好きになってしまいました。彼の陽気な本はイギリスでも人気で、世界中に広く知られていなかったボツワナの魅力的な人を引きつける面を、多くの人々に紹介しました。これらの本に記述されているボツワナは、素晴らしくて温かい場所で、わたしはいつか訪れたいと思っています。

